

日本共産党杉並区議会議員

くすやま美紀(樟山みき)活動報告

2023. 6. 8 NO.. 378

連絡先 荻窪5-15-19-704

☎ 080-5531-8236

区議会控室 ☎ 3312-2111 (内) 2319



↑ ホームページ



区議会第2回定例会 日本共産党区議団

学校給食費の無償化、早期実施を迫る

開会中の区議会第2回定例会で、日本共産党杉並区議団は、小池めぐみ、富田たく両区議が一般質問に立ちました。

区長 国の対応を待たず「早期に実現すべき」と答弁

23区では、今年度から部分的な無償化も含め、9区が無償化に踏み込みました。その後も、多くの区が、今年度中の無償化実施を表明するなど、無償化の動きが広がっています。

小池区議は、杉並区でも早期の実施を求めました。岸本区長は「本来、無償化は国の責任において実施すべきもの。国の「骨太の方針」の動向を見極める必要がある」としながら「喫緊の課題であることから、国の対応に時間がかかることが明かになったとしても、議会で議論を尽くしたうえで早期に実現すべきと考えている」と答弁しました。



岸本聡子区長

- ◆今年度実施区
葛飾、台東、北、品川、中央、荒川、世田谷、足立(中学校のみ)、練馬(第2子以降)
- ◆今年度中の実施を表明した区
豊島、江東、大田、板橋、江戸川、新宿(第2子以降)

井戸水から高濃度PFAS 区独自の地下水検査を求める

5月19日、東京都水道局による「有機フッ素化合物検出状況」が公表され、昨年4月の調査

■杉並浄水所1号取水井戸の検出結果

(環境省の暫定「指針値」50ng/L)

検査年	PFOS・PFOAの合計値	備考
2022年	210 ng/L	※2016年に大腸菌が検出され運用停止中
2012年	153 ng/L	※検査方法の検討等の目的の為、参考値
2011年	118 ng/L	
2005年	81 ng/L	

※東京都水道局・区部の有機フッ素化合物の過去の検査結果より

で善福寺3丁目に設置されている杉並浄水所(現在運用停止中)の取水井戸から有機フッ素化合物(PFAS)が検出されたことが明らかとなりました。検出された値は1リットル当たり210ナノグラムで、環境省が設定している「指針値」の1リットル当たり50ナノグラムに比べ4倍以上の高濃度汚染となっています。富田区議は、区内全域の井戸水、湧水、土壌等の調査の実施を求めるとともに、区内の汚染が現在問題となっている多摩地と同じ汚染源である可能性を指摘し、その汚染源とみられる米軍横田基地への立ち入り調査を国・東京都に要望するよう求めました。

区は、指針値を超える汚染であることを認めつつも、区内水道水では検出されていないこと、PFASについては国が対応を検討中であることから、情報収集を行い区民の不安に寄り添えるように周知に努めたい、との答弁にとどまりました。

お困りごと・ご相談は、お気軽に上記連絡先まで、お電話ください

事実誤認、無礼の言葉の使用、他人の私生活に言及・・・ 田中ゆうたろう議員は発言の撤回を

議事録削除と関係者への謝罪を求める要請書を提出

6月2日の本会議一般質問で、田中ゆうたろう議員は、事実誤認や無礼の言葉の使用など、議会の場にふさわしくない発言を繰り返しました。

田中議員は、杉並区内で活動する団体について「構成員が暴力事件で有罪判決を受けた」などと断定。しかし、この指摘が事実でないことは団体への聞き取りで明らかになりました。団体の名誉を傷つけるもので訂正し謝罪すべきです。岸本区長に対しても、私的な行動や服装に

用し、他人の私生活にわたる言論をしてはならない」と規定した地方自治法第132条に抵触するものです。

さらに、田中議員は、トランジェンダーと犯罪者を結びつける印象操作を行い、性的マイノリティの人権を侵害する発言も繰り返しました。杉並区性の多様性条例の「性を理由とする差別等の禁止」にも抵触するもので、許されるものではありません。

日本共産党区議団は、即日、議長・副議長に対して発言内容に問題があることを指摘。現在、区議会のホームページでは「議長が記録を調査の上、不適当な発言があったと認める場合には、適切に措置することとなりました」として録画は配信されていません。

あるかのように、特定の議員を名指しし、事実と異なる発言を繰り返すなど、異常とも言えるものでした。

6月7日、日本共産党区議団は、他党派と協議し、議長・副議長にたいし、田中議員の発言について、議事録の削除と関係者に謝罪させることを求める要請書を提出しました。(写真上)



こうした発言は「議員は議会の場で無礼の言葉を使

要請書を提出しました。(写真上)

ゆうゆう天沼館等の廃止・統廃合計画 委員会で否決

今定例会に、ゆうゆう天沼館、天沼区民集会所、本天沼区民集会所の3つの施設を廃止し、「コミュニティふらっと本天沼」に統合する議案が提案され、6日の区民生活委員会が審議が行われました。

この計画は、田中前区政が進めてきたものです。3つの施設が1カ所に統合されるため、地域住民にとっては活動拠点が減少し、高齢者の専用施設も無くなることから、計画見直しを求める声が上がっています。

岸本区長は、前区政のもとで策定された区立設再編整備計画について見直しを表明していましたが、この計画については「残念ながら白紙に戻すことは困難」として今定例会に関連議案を提案しました。

日本共産党区議団は、ゆうゆう館の廃止、集会所の激減、地域住民の合意形成がなされていないことから、議

案に反対。採決では、立憲民主党、少数会派の議員も反対し、賛成少数で否決されました。委員会では否決されるのは異例です。議案は、19日の定例会最終日に本会議で採決が行われます。



定例会初日、区役所前に区民のみなさんが応援にかけつけてくれました。今定例会では、多くの新人議員が一般質問に立ち、ジェンダー平等や環境問題、保育や子どもの権利、介護、シングル女性の支援など、多岐にわたる分野で、専門性の高い質問を行いました。区議会が変わってきたと実感。希望を感じました。